

# 家畜衛生広報いいだ

長野県飯田家畜保健衛生所  
飯伊家畜畜産物衛生指導協会  
TEL : 0265-53-0439、0440  
FAX : 0265-53-0441  
E-mail : iidakachiku@pref.nagano.lg.jp  
http://www.pref.nagano.lg.jp/iidakachiku/

H30 (2018)1.22 発行 2017\_No.10

## アニマルウェルフェアに配慮した家畜の飼養管理は 生産性の向上や安全・安心につながります

アニマルウェルフェアの考え方に対応した飼養管理を行うことは、家畜のストレスや怪我、疾病等を減らし、家畜が健康であることによる安全・安心な畜産物の生産につながるだけでなく、生産者にとっても家畜の能力を引き出し、治療費等のコストの軽減にもなり、生産性の向上につながります。

また、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会においても、持続可能性に配慮した畜産物の調達基準で、快適性に配慮した家畜の飼養管理が求められています。

アニマルウェルフェアは必ずしも最新の施設や設備を必要とするものではありませんので、日頃から愛情をもって家畜の飼養管理を行い、生産性向上や安全・安心な畜産物生産につなげましょう。

アニマルウェルフェアでは「5つの自由」を家畜がとれることが指標となっていますので、飼養管理等で意識するようにしましょう

5つの自由	飼養管理での主な注意点
飢餓と渇きからの自由	家畜の発育段階等にあわせ、適切な量とバランスが取れた飼料や新鮮な水を家畜が摂れるようにする。 飼料は家畜の健康に悪影響なものが入らないようにし、汚染や劣化を最小限に抑えて保管する。
恐怖及び苦悩からの自由	突然の予期せぬ騒音にさらす等の家畜の取り扱いは、家畜に恐怖と苦悩を与えるので注意する。
物理的及び熱の不快感からの自由	飼養する家畜にあわせた暑熱対策や寒冷対策を行い、適温の維持に努める。 アンモニア等有害物質が畜舎内に過度に滞留しないように努める。
苦痛、障害及び疾病からの自由	家畜に外科的・非外科的処置を行う場合（例えば牛の除角、去勢、削蹄など）は獣医師の指導の下で麻酔や鎮痛剤を使用する等により、家畜の苦痛を緩和するよう努める。
正常な行動ができる自由	家畜を群飼する際には、群内の家畜同士が敵対し緊張感が徒に増さないよう群構成に留意する。 畜舎は ① 突起物等家畜が怪我をする原因がないこと ② 清浄性を保つため清掃・消毒ができていないこと ③ 床面は排水がよく、乾燥し、滑りにくくなっていること ④ 家畜が容易に休息姿勢をとったり、立ち上がったたりすることができ、休息する際の十分なスペースがあること